

- 問1 古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため | 2. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため | 3. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため | 4. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため |
|--|---|--|--|
- 問2 古代中国の殷王朝では、政治上の重要な決定を行う際に神の意思を問う占いが行われていました。この占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や動物の骨に刻んで使われた文字を何と呼びますか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|---------|---------|------------|
| 1. 象形文字 (ヒエログリフ) | 2. 甲骨文字 | 3. 楔形文字 | 4. アルファベット |
|------------------|---------|---------|------------|
- 問3 古代において、ナイル川の定期的な増水によってできた肥沃な土地を利用して発展し、象形文字や太陽暦を生み出した文明は何ですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 中国文明 | 2. メソポタミア文明 | 3. エジプト文明 | 4. インダス文明 |
|---------|-------------|-----------|-----------|
- 問4 7世紀初め、アフリカ大陸の北東に位置し、紅海とペルシア湾に挟まれた三角形の半島において、唯一神アッラーを信仰する新しい宗教が成立しました。この宗教を創始した人物を、次の中から選びなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|----------|-------|
| 1. パスコ＝ダ＝ガマ | 2. ムハンマド | 3. ルイ14世 | 4. 釈迦 |
|-------------|----------|----------|-------|
- 問5 7世紀にアラビア半島のムハンマドが、唯一の神であるアッラーからの啓示を受けたとして開いた、神への絶対的な服従を説く宗教は何か、次のの中から選びなさい。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 1. 儒教 | 2. イスラム教 | 3. 仏教 | 4. キリスト教 |
|-------|----------|-------|----------|
- 問6 鎌倉時代後期の1281年に起きた「弘安の役」について、その時の中国の王朝と当時の日本の状況を説明した文として正しいものを選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 明という王朝との間で正式な外交関係を結び、倭寇の取り締まりを条件に貿易を開始した。 | 2. 唐という王朝が朝鮮半島の新羅と結んで攻めてきたため、日本は太宰府に水城を築いて防御を固めた。 | 3. モンゴル帝国が国号を改めた元という王朝が侵攻し、北条時宗を中心とする鎌倉幕府が防戦にあたった。 | 4. 漢という王朝の皇帝から金印を授かったことで、日本国内の有力な王としての地位を確立しようとした。 |
|--|---|--|--|
- 問7 日本の原始・古代における4つの代表的な資料（打製石器、青銅器、埴輪、和同開珎）を、出現した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 青銅器 → 打製石器 → 埴輪 → 和同開珎 | 2. 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎 | 3. 打製石器 → 青銅器 → 和同開珎 → 埴輪 | 4. 打製石器 → 埴輪 → 青銅器 → 和同開珎 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問8 前漢（漢）の時代、大規模な防衛施設である万里の長城が、現在の中国の内陸部から黄河の北側にかけての境界線沿いに整備されました。このように、漢が大規模な長城を維持・拡張した主な目的として正しいものはどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 黄河の氾濫を防ぎ、周辺の農耕地を保護するための堤防とするため | 2. 国内の反乱勢力を一定の地域に閉じ込め、中央集権体制を維持するため | 3. 朝鮮半島や日本列島との海上貿易を管理する拠点とするため | 4. 北方の遊牧民族による侵入を防ぎ、国土を防御するため |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問9 円形闘技場（コロッセウム）に代表される大規模な石造建築物が造られた古代ローマ帝国では、キリスト教に対する扱いが時代とともに大きく変化しました。その経緯を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 高度な天文学や数字の知識を持つキリスト教徒を優遇し、建国初期から公認していた | 2. 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった | 3. ギリシャの民主政治の影響を受け、建国時から一貫してキリスト教を国教としていた | 4. 建国当初からキリスト教を保護し、シルクロードを通じて東アジアへ広めた |
|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問10 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土で作られた板に、尖った棒のようなもので刻み込まれた文字を何といいますか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------|---------|-----------|
| 1. 象形文字 (ヒエログリフ) | 2. フェニキア文字 | 3. 甲骨文字 | 4. くさび形文字 |
|------------------|------------|---------|-----------|
- 問11 次のア～エに示す歴史的事象について、発生した年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。
ア：渡来人によって須恵器の作製技術が伝えられた。イ：聖武天皇の遺品などが正倉院に納められ、天平文化が栄えた。
ウ：足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。エ：豊臣秀吉による朝鮮侵略の際、連れてこられた陶工により陶芸技術が広まった。
(2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. ア→ウ→イ→エ | 2. イ→ウ→ア→エ | 3. ア→イ→ウ→エ | 4. イ→ア→エ→ウ |
|------------|------------|------------|------------|
- 問12 西アジアのチグリス川とユーフラテス川という2つの大河の流域で栄えた古代文明について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。 | 2. 黄河流域で青銅器が作られ、亀の甲羅などに刻まれる甲骨文字が使われた。 | 3. チグリス・ユーフラテス両川の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。 | 4. インダス川流域で、下水道などの設備を整えた計画的な都市が建設された。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問13 古代文明で用いられた文字とその記録媒体の組み合わせとして、メソポタミア文明に該当する説明はどれか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. ナイル川流域で、パピルスと呼ばれる植物から作られた紙のようなものに記された。 | 2. 葦のペンを用い、乾燥させる前の柔らかい粘土板に押し当てるようにして刻まれた。 | 3. インダス川流域で、印章に動物の姿などととも絵文字として刻まれた。 | 4. 黄河の流域で、亀の甲羅や牛の骨に刻んで占いの結果などを記録した。 |
|---|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問14 日本の歴史における出来事や文化と、それが属する時代の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 朝鮮への兵の提出に際して多くの陶工が連れてこられた — 鎌倉時代 | 2. 正倉院に宝物が納められ天平文化が栄えた — 室町時代 | 3. 勘合を用いて明と貿易が行われた — 奈良時代 | 4. 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた — 古墳時代 |
|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|-------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、 農作業の計画を立てる必要があったため	古代エジプトでは、ナイル川が毎年ほぼ決まった時期に氾濫し、周囲に肥沃な土壌を残していく性質を利用して農業が行われました。この氾濫の時期を正確に知ることは、種まきなどの農作業の予定を立てる上で不可欠だったため、天体観測に基づいた太陽暦が発達しました。ピラミッドは王の墓であり、建設と暦の関係はこの選択肢の文脈には当てはまりません。
問2	答え 2 甲骨文字	紀元前16世紀頃に成立した殷（商）では、王が国家の行事や戦争の成否を占うため、亀の甲羅や牛の肩甲骨を焼き、そのひび割れの形で吉凶を判断しました。そこに刻まれた文字は、現在の漢字の原型となったことで知られています。粘土板に刻まれたメソポタミアの楔形文字や、エジプトの象形文字とは成立の背景が異なります。
問3	答え 3 エジプト文明	ナイル川の流域で発達したエジプト文明では、定期的な増水後の肥沃な土を利用して農耕が行われ、象形文字（ヒエログリフ）や太陽暦が作られました。
問4	答え 2 ムハンマド	7世紀初めに、アラビア半島のメッカで商人をしていたムハンマドが神の啓示を受けたとして創始したのがイスラム教です。ムハンマドは唯一神アッラーへの帰依を説き、アラビア半島の諸部族を統合する精神的な支柱となりました。
問5	答え 2 イスラム教	ムハンマドがメッカで開いたこの宗教は、唯一神アッラーを信仰し、その教えは聖典「コーラン」にまとめられています。ムスリムと呼ばれる信者は、礼拝や断食など、生活全般において神への服従を実践することを重んじます。
問6	答え 3 モンゴル帝国が国号を改めた元という王朝が 侵攻し、北条時宗を中心とする鎌倉幕府が防 戦にあたった。	13世紀後半、フビライ・ハンが国号を定めた「元」は、日本に対して服属を要求し、文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）の二度にわたって侵攻しました。これを迎え撃ったのは、鎌倉幕府の執権であった北条時宗です。唐や新羅との戦いは7世紀の白村江の戦い、金印の授与は1世紀の漢（後漢）との交流、明との貿易は室町時代の出来事です。
問7	答え 2 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎	日本の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。次に、弥生時代になると大陸から稲作とともに青銅器などの金属器が伝わりました。その後、古墳時代には古墳の周囲に並べるための埴輪が作られるようになり、奈良時代に入ると律令国家の形成に伴い、唐の貨幣にならった和同開珎が鑄造されました。この変遷は、生産技術の向上や国家体制の整備の過程を反映しています。
問8	答え 4 北方の遊牧民族による侵入を防ぎ、国土を防 御するため	前漢の時代、中国の北方の草原地帯には強力な遊牧民族が活動しており、農耕定住社会である漢の領土へしばしば侵入を繰り返していました。漢の武帝などは、これに対抗するために万里の長城を修築・延長し、騎馬軍団による大規模な侵攻を食い止めるための軍事的な防衛線として活用しました。
問9	答え 2 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公 認され、最終的に国教となった	ローマ帝国は初期において、多神教の立場から皇帝崇拝を拒むキリスト教を「国家に反するもの」として処刑などの迫害を行いました。しかし、4世紀初めにコンスタンティヌス帝が信仰を認め（公認）、その後、帝国の分裂を防ぎ統治の正当性を支える基盤とするために、4世紀末には唯一の公式な宗教（国教）として定められました。シルクロードや民主政治などは、ローマ帝国のキリスト教政策とは異なる背景を持つ用語です。
問10	答え 4 くさび形文字	現在のイラク付近にあたるチグリス川・ユーフラテス川流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発展しました。この地域では河川から得られる粘土が豊富であったため、乾燥させる前の粘土板に、葦（あし）の茎などを押し当てて鋭い線を組み合わせた「くさび形文字」を刻んで記録を残しました。エジプト文明の象形文字や中国の甲骨文字と並び、古代文明を象徴する文字の一つです。
問11	答え 3 ア → イ → ウ → エ	アの渡来人と須恵器は古墳時代、イの正倉院と天平文化は奈良時代、ウの勘合貿易は室町時代、エの朝鮮侵略と陶工は安土桃山時代の出来事です。したがって、年代の古い順に並べるとア（古墳時代）→ イ（奈良時代）→ ウ（室町時代）→ エ（安土桃山時代）となります。
問12	答え 3 チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土 板に刻まれるくさび形文字が発達した。	メソポタミア文明は、現在のイラク周辺を流れるチグリス川とユーフラテス川の間に広がる地域で発展しました。この地域では農耕や商業が盛んに行われ、その記録を残すために粘土板にくさびのような形の文字を刻む「くさび形文字」が発明されました。また、天文学や数学も高度に発達し、農作業や儀式の目安となる暦が整備されました。
問13	答え 2 葦のペンをうい、乾燥させる前の柔らかい粘 土板に押し当てるようにして刻まれた。	メソポタミア文明では、地域で豊富に得られた粘土を記録媒体として活用しました。エジプト文明のパピルスや、中国（殷）の甲骨など、それぞれの文明は身近にある材料を利用して文字を残しました。メソポタミアの粘土板は、乾燥させたり焼いたりすることで、長期的な保存が可能となりました。
問14	答え 4 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた → 古墳時代	渡来人によって須恵器の作製技術が伝えられたのは古墳時代です。正倉院や天平文化は奈良時代、勘合貿易は室町時代、朝鮮侵略にともなう陶工の来日は安土桃山時代の出来事となります。